

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコースデザイン専攻		昼間
学年	2年次	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	友廣 麻紀

【科目の到達目標】

既製服のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

台襟付シャツカラー プレタ展作品 ジャケット 部分縫い コート 子供服 上田学園コレクション作品
比翼仕立てラグランスリーブ フォーマルドレス

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
第1週	部分縫い 薄物 縫製	第16週 縫製
第2週	・台襟付きシャツ 裁断・縫製	第17週 縫製
第3週	・プレタ展作品 パターン	第18週 上コレ作品
第4週	トワール組	第19週 縫製
第5週	工業用パターン	第20週 縫製
第6週	縫製	第21週 縫製
第7週	縫製	第22週 縫製
第8週	縫製 縫製	第23週 縫製
第9週	縫製	第24週 縫製
第10週	・創作ジャケット 工業用パターン	第25週 縫製
第11週	縫製 	第26週 縫製
第12週	縫製	第27週 ・フォーマルドレス
第13週	・子供服 縫製	第28週 縫製
第14週	・ラグランスリーブ 縫製	第29週 縫製
第15週	・防寒用ウールのコート デザイン・トワール組 工業用パターン 縫製	第30週 縫製

【成績評価方法】

課題表評価60% 試験評価 30% 授業研究態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

ブラウス・ジャケット・コート・ワンピース・テーラーリングの教科書

【教材・教具】

ミシン等縫製機器・洋裁道具一式

科目名	パターンメイキングⅡ－A		
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンス コースパターン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	渡辺 杉子
【科目の到達目標】 規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う。 デザイン画・実物サンプルからの確かなパターンを指定された時間内に完成させる。			
【科目の概要】 ジャケット・ワンピース・コートなどのパターンの修得			
【授業計画】 前期 90分/コマ		後期	
1・2 ●パターンメイキング概論 3・4 ●デザインブラウス 5・6 ●マニプレのジャケット 7・8 ●工業用パターン 9・10 見返し&上襟展開/裏地 11・12 ●カットソー ●子供服 13・14 ●ラグランスリーブ 15・16 17・18 19・20 ●身頃の展開とデザイン 21・22 23・24 ●テーラードジャケット ゴージャードーツ 25・26 27・28 29・30 ●試験		31・32 ●ジャケット カット無し 33・34 35・36 ●スカートの展開とデザイン 37・38 39・40 ●デザインアイテム: ワンピース 41・42 43・44 ●メンズ ジャケット 45・46 47・48 ●グレーディング 49・50 51・52 ●パンツ 53・54 55・56 ●デザイン アイテム:ジャケット 57・58 59・60 ●試験	
【成績評価方法】 完成パターン、立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題表評価60% 試験評価 30% 授業研究態度10% 以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する			
【教科書・参考書】 江副玲子 パターンメイキング3年 相尾純子 グレーディング 山路俊美 『メンズ製図集抜粋』 実物見本			
【教材・教具】 実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	ドレーピング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース パターン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子
【科目の到達目標】			
ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。			
【科目の概要】			
立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義		
3、4	ショルダーカット(ダーツ)		
5、6	アームホールカット(ダーツ)		
7、8	サイドカット(ダーツ)		
9、10	ウエストカット(ダーツ)		
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用		
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用		
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用		
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用		
15、16	身頃の復習(ダーツ)		
17、18	ジャケット テーラードカラー(ショルダー切替)		
19、20	テーラードカラー(上記のジャケット)		
21、22	一枚袖(上記のジャケット)		
23	タイトスカート		
24	タイトスカートのパターンどり		
25、26	フレアースカートの製作		
27、28	まとめ		
29、30	前期試験		
【成績評価方法】			
課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%			
【教科書・参考書】			
江副玲子『ドレーピング』最新版			
【教材・教具】			
トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	パターンメイキングⅡ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース パターン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80%
時間数	120	作成者	宮田 共子

トレンドに沿った企業デザインを理解し、デザイン画・実物作品からの確なパターンを指定された時間内に完成させる。各種デザインパターンへ理論的に展開、パターン作自由に企画・デザインするためのパターン形状の知識を培う。

【科目の概要】

自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発想、検証する。
ブラウス・ジャケットなどのパターンの修得、就職試験を踏まえた模擬テストの実施。

【授業計画】 前期 パターンメイキングⅢ 90分/コマ		後期 ドレーピングⅡ	
1・2 3・4	●スカートのバリエーション	31・32 33・34	※ドレーピング概論 ○テーラードカラーのジャケット
5・6 7・8	●ペプラムの上着	35・36 37	○ギャザーのワンピース
9・10 11・12	●デザインジャケット	38・39 40	○デザインワンピース
13・14 15・16	●デザインワンピース(サンプル)	41・42 43・44	○ジャケット ハイネック
17・18 19・20	●デザインブラウス(サンプル)	45・46 47・48 49・50	○ドレープ襟コート ○脇マチのジャケット
21・22 23・24	●デザインブラウス(サンプル)	51・52 53・54	○ツイストブラウス
25・26 27・28	●細身ジャケット(サンプル)	55・56 57・58	○デザインスカート ○クリエーション
29・30	●デザインブラウス(サンプル)	59・60	○試験

【成績評価方法】

完成パターン、立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題表評価60% 試験評価 30%
授業研究態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

江副玲子 『パターンメイキング3年』『ドレーピングⅠ』『ドレーピングⅡ』

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・ICテープ・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコースデザイン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 40% 実習 60 %
時間数	120	作成者	藤原博之

【科目の到達目標】

本授業ではアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズに合った企画提案ができ、デザインを考える能力の向上や感性を身につけることを目標とする。
また企画したものを分かり易くプレゼンテーションすることができる。

【科目の概要】

アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学んでいく。
企画書を伝える手段としてプレゼンテーション内容・表現の充実を図る。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション		31・32 デザイン演習①学内企画
2	デザインについて		33・34 デザイン演習②学内企画
			35・36 デザイン演習③学内企画
3・4	ブランド企画シミュレーション①		
5・6	ブランド企画シミュレーション②		37・38 グループワーク①
7・8	ブランド企画シミュレーション③		39・40 グループワーク②
9・10	ブランド企画シミュレーション④		41・42 グループワーク③
11・12	ブランド企画シミュレーションプレゼン		43・44 グループワーク④
			45・46 グループワークプレゼン
13・14	商品企画Ⅰ①		
15・16	商品企画Ⅰ②		47・48 商品企画Ⅱ①
17・18	商品企画Ⅰ③		49・50 商品企画Ⅱ②
19・20	商品企画Ⅰ④		51・52 商品企画Ⅱ③
21・22	商品企画Ⅰプレゼン		53・54 商品企画Ⅱ④
			55・56 商品企画Ⅱプレゼン
23・24	素材企画①		
25・26	素材企画②		57・58 まとめ
27・28	素材企画③		
			59・60 テスト
29・30	テスト		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリングブック』 株式会社グラフィック社 2008年
『ファッション販売』 商業界

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材 パワーポイント モニター OHP 副教材(プリント配布)等

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンス コースパターン専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛
【科目の到達目標】 半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。			
【科目の概要】 アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2 ヌードボディの表現 3・4 顔、ヘアスタイル、足、靴の表現 5・6 着装表現 1(男性的ディテール表現) 7・8 着装表現 2(女性的ディテール表現) 9・10 着装表現 3(その他の応用表現) 11・12 画材表現 1(ガッシュの使い方) 13・14 画材表現 2(マーカーの使い方) 15・16 画材表現 3(パステルの使い方) 17・18 アイテム画の表現 1(ボトムス) 19・20 アイテム画の表現 2(トップス) 21・22 メンズ表現 23・24 キッズ表現 25・26 デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ) 27・28 デザイン画選手権の作品製作 2(下絵) 29・30 デザイン画選手権の作品製作 3(着色)			
【成績評価方法】 課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%			
【教科書・参考書】 立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年 NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA			
【教材・教具】 ケント紙、ドローイングペン、着色画材など			

科目名	ファッションビジネス論 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコースパターン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	秦 野 知 邦
【科目の到達目標】			
・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】			
ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義 即戦力⇒企業が求める人材とは		
2	変わりつつある世界のコレクションとプロモーションについての講義 See now buy now・ファーフリー宣言についてなど		
3	グローバルSPAブランドとラグジュアリーブランドビジネスを比較する LVMH・ケリングとZARA・H&Mについてなど		
4	セレクト系SPAとメーカー系SPAを比較する 商社の役割と力について		
5	就活用のショップリサーチ資料を作成する ショップリサーチのチェックポイントについて		
6	就活用のショップリサーチ資料を作成するためのリサーチを実施する リアル店舗で今を感じる→新たな発見・気づき		
7	就活用のショップリサーチ資料を基にグループミーティング ショップリサーチの資料作成のポイントについて		
8	ショップリサーチ資料に基づくプレゼンテーションを実施 オリジナルな提案を踏まえた資料をパッションをもって伝える		
9	ファッションビジネストレンドについての講義 第4次産業革命とファッションについてなど		
10	ファッションビジネストレンドについての講義 SNSなどのプロモーションとファッションビジネスについてなど		
11	これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 世界のクリエイティブディレクターの世界観から考える		
12	ファッションビジネストレンドの展望と課題についての講義 南青山・表参道・銀座の市場動向から考える		
13	即戦力として知っておきたい計数についての講義 損益分岐点など		
14	まとめと取引と取引条件についての講義 バイヤーの仕事内容と資質についてなど		
15	期末テスト 筆記試験		
【成績評価方法】			
・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 20% ・ 期末試験 40%			
【教科書・参考書】			
日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】			
ノート ・ 筆記用具			

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンス コースパターン専攻		昼間
学年	2 年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

1		自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
2		" ロゴマーク作成
3		ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
4		" スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
5		" レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
6		" ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
7		" デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着色する
8		" Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトするしポートフォリオを完成する
9	CAD	タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
10		ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
11		タイトスカート2本ダーツ製図
12		表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
13		マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
14		まとめ
15		テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース パターン専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的なもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具